



Discipleship... 分ち合う旅



松根 ドン兄

数多くつくられている弟子訓練のプログラムに対し、私はあまりいい気がしません。

聖書のなかで「Disciple」と訳されている言葉は、原文ギリシャ語では「mathjtjs」ですが、その言葉を調べると、

福音書のなかだけでも260回以上登場しています。ヨハネの福音書のなかで語られているイエスの言葉は、真の弟子とはどうあるべきかについて言及しています。

8章31節：イエスの言葉にとどまる

13章35節：互いを愛する

15章8節：多くの実を結ぶ

この言葉「mathjtjs」は、一人またはそれ以上の、様々な活動をとおして主につき従っている人々を指して使われています。イエスの所に来てつき従い、食事を共にし、共に出かけ、共に麦畑の中をあるき、共にボートに乗り、ゲッセマネの園にも共に行きました。つまり、弟子たちは、イエスと、多くの時間を共に過ごしたのです。そしてイエスは、弟子たちを教えました。彼らは質問し、議論を交わし、イエスが群衆に教えているのを傍で聞き、ヤイロの娘が生き返るのを目撃したのです。パリサイ人からは非難され、あざけられました。

私がまだクリスチャンになりたてのUBCの学生だった頃、私をキリストに導いた友人ビルは、聖書を一緒に読んだり、私のために祈ってくれたり、また彼が伝道するのに私を連れていったりしました。そして、わたしの経営していた看板屋の手伝いを深夜まで一緒になって手伝ってくれたこともありました。

弟子であるということは、何かのコースやプログラムをこなしていくということよりは、経験と共にしていき、旅路を分かち合う中で教えられ、変えられていくことだと思います。そして、他のひとに弟子訓練をするということは、大げさなことではなく、その人と共に旅路を分かち合っていくことだと思います。

レスブリッジ ミニストリー

中尾善之介師



主の御名を崇めます。皆様のお祈りとご愛を心から感謝いたします。

まだ一度もお目にかかったことのない方々も含め、キリストにある家族の皆さんのお祈りとご愛に励まされ、このレスブリッジミニストリーのうちに、主が新たに素晴らしい御手の業を起こして下さいます。

私達は二月の始めに、プレーリーバイブルインスティテュートの日本人学生の皆さんをお呼びして、特別讃美礼拝を行いました。教会員は皆、素晴らしい讃美とチームワークに励まされました。その時、新しい日本人家族が参加して下さい、それ以来そのご家族は、アフタヌーンティークラブやアイスフィッシングなどの行事に参加して下さいます。

私はアフタヌーンティークラブのメンバーのご主人（韓国人）と共に、剣道クラブをスタートしました。又ファーストバプティスト教会にて、毎週α伝道コースに参加しています。このコースで学んだ事を、バイブルスタディーやユースのサンデースクールで行い、御言葉の深さを味わい、信仰の原点を共に分かち合う学びをしたいと思っています。

メンズブレイクファーストは4人の新しいメンバーが加わりました。一人は「福岡県人会」で出会った古くからレスブリッジに住まれている元大学教授の方。もう一方はレスブリッジで事業を始める為に、日本から移住された親子で、50~60代がこの会のメンバーを占めています。毎月この朝食会が終わると更に、4名以上の方がアイスフィッシングに加わってよい交わりを深めています。

アフタヌーンティークラブは二月から新しい方が加わり、子供を含めると11人の出席がありました。その他に、2人のお子さんをお持ちの国際結婚をされている方を訪問しました。家内の妊娠をきっかけに、同じ年に出産予定の日本人女性達と知り合い仲良くなる事ができました。又私達は、三月からキッズクラブをスタートしようとしています。何人かのお母さんが子育ての問題で悩んでいます。それぞれが持つ問題を分かち合いながら、日本語でのびのびと子供達が楽しめるクラブを始める事にしました。

更に毎月数回、教会外で出会った方々や、教会のメンバーをそれぞれ少人数で家に招き、更なる深い交わりができるように計画しています。

私達は時々、特殊なこの地での日系人伝道に焦りを感じますが、神様の定められた植物の法則も、キリストのいのちが宿る教会のいのちの原理も、同じように下に根を張ってからでないとなには実を結ばないのだという事を改めて教えられています。このミニストリーが、主のご計画のうちに更なる祝福の実を結んでいく事ができますように、引き続きお祈りください。

サマー ユース ミニストリー 2003

金城ノリ兄

SYM 2003

昨年に引き続き、今年もCJMの主催により、サマー・ユースミニストリーが行われます。今年は7月にカルガリーとエドモントンの青年4人が、トロント日系福音教会で3週間のミニストリーを行います。

サマー・ユースミニストリーの目標は次のとおりです。

1. クリスマンとしての奉仕活動の機会を提供する。
2. リーダーシップトレーニングを通して霊的成長を促す。
3. 伝道の促進
4. 地域を越えた交流

プログラムへの受け入れ条件

1. クリスマンとしてのはっきりとした証をもっている。
2. このミニストリーのすべての必要について主に信頼している。
3. チームワークを保つことができる。
4. 福音をきちっと伝え、人々をキリストに導く備えがある。
5. 14歳以上

参加者は、各々に財政、また祈りのサポートを募るように求められています。

詳細は、各教会の牧師、または下記まで直接連絡してください。

Nori Kanashiro

(CJM) Summer Youth Ministry 2003年

Tel: (416) 321-5831 E-mail: nbkan@sympatico.ca

カルガリー日系福音教会

コモリ・ダニエル兄

御霊による弟子訓練

はじめまして、ダン・コモリです。カルガリー福音教会カレッジ&キャリアのグループが最近取り組んでいる弟子化訓練について分かち合いたいと思います。

私たちは今、霊的なクリスマン生活（神の御霊を経験する生活）について学んでいます。隔週ごとに教会に集まり、学び、そして実践の時を持っています。私たちの大きなテーマは、「神の御声をどのように聞くか」というものです。

1つの例をあげると、Lectio Divina（味読）と呼ばれる昔ながらの方法を用い、御言葉を深く黙想し、理性的に頭で理解するだけでなく心の奥底にまでその御言葉がしみわたるように読んでいく練習をしています。キリスト教の教義や聖書の真実について知識を増やすことは容易なことですが、「ひそかにささやく神の御声」に耳を傾けることには、多くの訓練と忍耐が必要です。それでも、御言葉が深く根を張ることのできる土壌が私たちの上に整えられたとき（マルコ4：1-20）、御言葉を通して、内にある問題が取り扱われ、癒されていくのは、ほんとうにすばらしいことです。

神の御声に聞く生活をしていくためには、多くの訓練、努力、葛藤、忍耐力が要求されます。神が私たちの心の耳を開いてくださり、真理へと私たちを導く御霊の働きにより敏感に responding していくことができますように。

現代の教会には、常に私たちを導き続けて下さる御霊の働きを認識し、癒しやリニューアルの器として主に用いられる準備があり、主とのごく親しい関係を持った人たちがもっと必要とされています。

もし、私たち誰もが聞く耳を持っていないとしたら、いったい誰が御霊の語りかけに応答していくのでしょうか？

牧師から人々へ

吉田エドワード師



Relationships

まず初めに、牧師・宣教師はすべて、神の召しを受けた者でなくてははいけません。そしてその人の生活は、すべての面において神に捧げられていなければなりません。牧師はひとりひとり神の召しを受けているという自覚をもつべきです。

2つめに、牧師は、リーダーであり教師ですから意見・考えの相違があるにしても、尊敬すべきです。羊を飼うことは牧師の務めですが（ヨハネ21）、会衆も日曜日の夕食のをかこんで牧師を丸焼きにするようなことがないように心がけたいものです。

3つめに、牧師は、誠実であり、信頼されるべき存在でなくてははいけません。

ある宣教師は、1人の教会リーダーと会う約束をしましたが、約束どおりにきませんでした。すべての牧師、また宣教師は「よくやった。良い忠実なしもべだ。」と主から言われるのにふさわしい生活を心がけていくべきです。

4つめに、牧師は会衆ひとりひとりを愛し、心にかけています。個々それぞれの必要に気づき、公平に取り扱い、必要な人には十分に接します。「愛はすべての罪を覆う。」を忘れてはいけません。（1ペテロ4：8）

会衆も、それぞれの奉仕・賜物・教育を生かして、神の呼びかけに応答し、仕えていくことが大切です。

最後に、教会のミニストリーはチームワークです。牧師がコーチであるとするなら、教会員もそれぞれの持ち場においてはたす役割りがあります。10~15%の教会員が、献金や奉仕の9割を占めているとしたら、その教会の健全な成長がどうして望めるでしょう。さまざまな欠点のあったモーセやパウロが、ミニストリーのひな型となっているのはどうしてでしょう。それは、彼らが確かに、主に自分が呼ばれたという、確信に満ちた召しを受けていたからです。

ウエスリーチャペル日本人教会



吉田牧師ご夫妻とエステル

ウエスリーチャペルの弟子訓練

吉田エドワード師

ウエスリーチャペルには、2つの弟子訓練のためのセルグループがあります。2つとも、活発で、よく成長しています。1つのグループは、月に2回、シファール・クリフ師と、吉田エドワード師のリードにより、ナイアガラの竹下家において、信者と未信者が一緒に集まっています。先日の集会では、生後5ヶ月の乳児のいるカツラ姉が、友人を夕食に招待したあと、一緒に集会に来て、集まっているすべての人の前で、赤子の祝福の祈りをリクエストされました。これは、集まっているすべての人に、強い印象を与えました。

毎回の集会で、賛美の歌を歌った後に自己紹介をしています。聖霊の働きの中、その場が証をする場として用いられています。未信者と成熟した信者が1対1で話す場もあります。救われる方がおこされた時には、感動と喜びが与えられています。救われた方のためには、リーダーたちにより、フォローアップも行われています。今年5月3日には、このセルグループも5周年を迎えます。各地から牧師・教会リーダーを招き、一日聖書学校等のイベントを予定しています。

もうひとつのグループはトロントで、女性だけが集まり、同じような働きをしています。毎月第2と第4木曜日に集まり、主にある分かち合いと励ましの時を持っています。そして、その女性たちはセルグループを通して成長し、教会のなかで活発に様々な奉仕にあたって下さっています。

弟子訓練は、この教会においてよい成果をあげています。

トロント日系福音教会

戎崎レイモンド師

弟子訓練 - 心の更新 -

まず、弟子訓練について見直し、分かち合う機会を私たちに提供して下さったCJMに感謝いたします。

JGCTでは、主に次の4つの方法で、弟子訓練が行われています。

1. スモールグループ：ユースグループ・カレッジ&キャリアグループ・女性グループ・男性グループ・毎月曜日のグループ・祈りのグループ・日曜学校
2. 個々のつながりの中において：マンツーマンの弟子訓練など
3. キャンプ
4. 日曜礼拝



戎崎牧師ご夫妻と
シヨーン君(1歳)

JGCTにおける弟子訓練についての個人的な感想

弟子訓練や霊的な成長について、適切に評価していくことは難しいことですが、個人的には、教会で行われている弟子訓練は、個々の霊的成長の大きな助けになっていると思います。（特に、それぞれのスモールグループ、またキャンプミニストリーを通して人々が成長させられていくのを感じます。）それでも私たちには、よりよい弟子訓練のため、成長していくべき課題がまだまだたくさんあります。以下は、より良い成長のために私が今持っている課題です。

- A. 弟子訓練・霊的成長の過程を、深く理解する。‘Renovation of the Heart’（ダラス・ウィリアム著、2002年）は、私たちの古い考え方が新しく変えられ、心の奥底からの真の変化がおこるように招いてくれます。この本は私にとってもいい影響をもたらしました。
- B. 心の更新の良い例となる。
- C. 教会、またはそのリーダーたちに、心の更新について認識してもらう。
- D. それぞれのスモールグループのリーダーたちに、そのグループ内での個々の成長の度合いについて、評価してもらう。
- E. スモールグループのリーダーたちと共に弟子訓練のために努める。（成長の目標、それに到るための計画、祈りと実践）
- F. 教会リーダーや、教会員のなかで、カウンセリングにあたる人が出来る人を養成していく。
- G. マンツーマンの弟子訓練を促していく。

バンクーバー 日系福音教会

福迫徹也師

主の御名によって、ご挨拶申し上げます。

主がバンクーバー日系福音教会のミニストリーを祝福してくださっていることをここで報告できることは、大きな喜びです。聖書を中心とした福音的教会として、宣教と弟子訓練を通して神の御心を述べ宣べ伝えていくことに努めています。また、礼拝、交わりなど1つひとつ行われていくミニストリーによって、神を愛し、隣人を愛していくことを心がけています。

私たちの教会は、壮年の人の親睦グループを新しく形成しました。バルナバ会（30代、40代の男性のグループ）、マリア会（小さな子どものいる母親のグループ）があり、2ヶ月に一度のペースで、礼拝後に集まりをもっています。これらの新しいグループは軌道にのっており、特に新来会者が同じ世代の人と交わるよい機会として、用いられています。

英語部の方では、‘トークタイム’とユース活動は定期的に行われ、ユースやESLの学生たちは、楽しんで参加しています。イースター礼拝には、金子せいこ姉が洗礼を受けることになっており、私たちは楽しみに待っています。彼女以外にも、聖書の学びにときどき顔を出してくれる学生がおり、彼らの救いのためにも、祈っています。

最近では、毎週70名位の人が日曜礼拝に出席し、その半分以上の人が、日曜学校にも参加しています。日曜学校は、幼児クラスから大人クラスまで、日本語と英語にわかれ、活動しています。

どうか私たちの教会において、主の栄光が輝きますようにお祈りください。わたしたちも、皆様のために、お祈りしています。



福迫牧師ご夫妻と
シンヤ君、ユウヤ君

New Secretary



サコン・ティナ、ブレディー、
タイラー、ジェイク

こんにちは！サコン・ティナです。カルガリーで、生まれ育ちました。主人の名前はサコン・ブレディーで、私たちには2人の子どもがいます。8歳の娘タイラーと、5歳の息子ジェイクです。

1984年にカルガリー大学保育科を卒業し、幼児教育にかかわる仕事をしてきました。現在は我が子と共に家で過ごしています。

私はまだ幼かったときにボウバリーキャンプをとおしてクリスチャンになりました。現在はカルガリー日系福音教会の会員で、日曜学校の教師、スモールグループのリーダー、また教会の様々な計画・運営にかかわる分野において奉仕をしています。

このニュースレターはインターネットでも御覧いただけます。 www.jgct.com